

便中膵エラスターゼ

目的：膵外分泌不全の診断

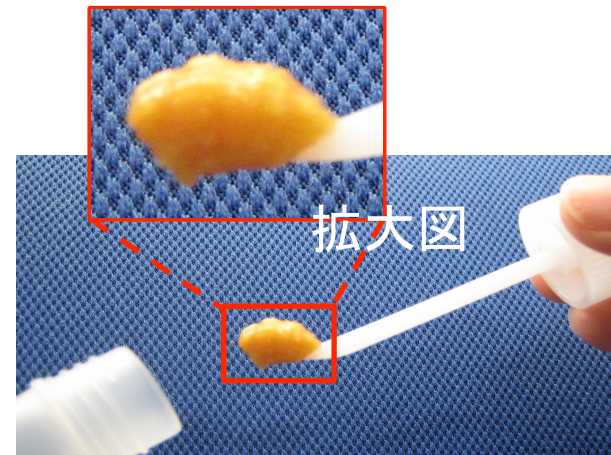
エラスターゼは膵臓から分泌される消化酵素です。便とともに排泄されるので、便中の濃度を測定すると膵臓の外分泌機能が分かります。便中エラスターゼが200 $\mu\text{g/g}$ 以下の時は、膵外分泌不全があると診断されます。

嚢胞性線維症では膵臓の機能が低下して、膵外分泌不全になります。消化不良、脂肪便、低栄養、発育障害などがおきるので、膵外分泌不全の有無を診断する必要があります。膵外分泌不全がある時には、酵素補充療法が必要です。

〒470-0224
愛知県みよし市三好町八和田山15番地
みよし市民病院 検査課
TEL: 0561-33-3300 FAX: 0561-33-3308

採便時の注意

- 体調が良い時にお願いします。下痢の時は避けてください。
- 消化酵素製剤を内服中の時でも、服薬を中止する必要はありません。
- 便器の水のない所にトイレットペーパーを重ねて、その上に排便してください。
- 必要な便の量は、スプーンに一杯程度（およそ0.5g）です（下図を参照）。
- 採取容器は、ビニールの袋に入れて密閉してください。
- 検査確認書に、採取日と発送日を記入して、採便当日もしくは翌朝までに（レターパック）にて発送してください。
- 夏期にはクール便でお願いします。
- 翌日までに出せない時は、冷蔵庫に保管してください。



写真を目安に便を採取して、蓋をしっかり締めてください